

ニュースリリース

2025 年 7 月 4 日

第 38 回 日刊自動車新聞 用品大賞 2025 選定結果発表

グランプリは住友ゴム工業／ダンロップタイヤの「SYNCHRO WEATHER」に決定

株式会社日刊自動車新聞社（社長：花井真紀子／本社：東京都港区）は 4 日、第 38 回「日刊自動車新聞 用品大賞 2025」のグランプリと準グランプリおよび各部門賞を決定した。

グランプリは、住友ゴム工業株式会社／株式会社ダンロップタイヤの「SYNCHRO WEATHER」、準グランプリにはアルパインマーケティング株式会社の「MetioSound」と株式会社レイズの「VOLK RACING TE37GC」を選出した。

今回の用品大賞では、環境への配慮や車内空間の快適性向上に貢献する製品が数多く見受けられた。また、カーセキュリティ部門および洗車・コーティング部門からは、それぞれ 2 製品が選出されるなど、社会的背景やユーザーの関心を色濃く反映した受賞結果となった。

表彰はグランプリ、準グランプリのほか、16 部門と環境貢献賞、特別賞の合計 24 社。表彰式は 7 月 18 日（金）に都内のホテルで開催する。

「日刊自動車新聞 用品大賞」は 1987 年のスタート以来、自動車ユーザーに多彩で充実したカーライフを提案するとともに、自動車用品の販売促進と業界発展に寄与することを目的として選定し、今年で 38 回目を迎えた。

選定対象は、2024 年 4 月から 2025 年 6 月の期間に発表、発売し、注目を集めた各ジャンルのカー用品。カー用品販売店の協力のもと実施したアンケート調査の結果も参考に各賞を決定した。選定にあたっては社内に「日刊自動車新聞用品大賞 2025 選定委員会」を設置。販売数量だけでなく、商品開発のアイデアや話題性、業界貢献度、社会状況なども鑑み、総合的に評価した。

日刊自動車新聞 用品大賞 2025 は、本紙紙面のほか、弊社電子版（<https://www.netdenjd.com/>）
公式 Twitter（[@nikkanjidosh](#)）、公式 Instagram（[nikkanjidoshashimbun](#)）でも発表する。

【用品大賞についてのお問い合わせ先】

日刊自動車新聞社 用品大賞実行委員会

<広報担当> 友田・茅根

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-10-11 芝大門センタービル 3 階

TEL : 03-5777-2621 / Email : youhintaisyou@njd.jp

グランプリ・準グランプリ・部門・環境貢献賞・特別賞 選定結果

グ ラ ン プ リ	住友ゴム工業株式会社／株式会社ダンロップタイヤ 「SYNCHRO WEATHER」
準 グ ラ ン プ リ	アルパインマーケティング株式会社 「MetioSound」
準 グ ラ ン プ リ	株式会社レイズ 「VOLK RACING TE37GC」
タ イ ヤ 部 門	横浜ゴム株式会社 「GEOLANDAR A/T4」
洗 車 ・ コーティング部 門	株式会社カーメイト 「ハイパーレジン クロス付き 100」
洗 車 ・ コーティング部 門	武蔵ホルト株式会社 「タフウレタンヘッドライト オールインワン」
カ ス タ マ イ ズ 部 門	サンショウ株式会社 「model LM ROOMY」
ラ ン プ ・ バ ル ブ 部 門	辰巳屋興業株式会社／RACING GEAR 「LED HEAD&FOG PREMIUM MODEL II」
ア イ デ ア 部 門	株式会社ソフト99コーポレーション 「自販機販売システム『洗車365』」
ア ク セ サ リ ー 部 門	星光産業株式会社 「DELICAD:5 専用 ドリンクホルダー／スマートキーカバー」
ア ク セ サ リ ー 部 門	株式会社カシムラ 「KW-51 自動開閉式ワイヤレス充電ホルダー冷却機能」
セ ー フ テ ィ ー 部 門	セルスター工業株式会社 「デジタルインナーミラー CS-2000SM」
ディスプレイオーディオ部門	パイオニア株式会社 「DMH-SF900」
アプリケーション部門	パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社 「Gorillada PRO」
カーセキュリティ部門	株式会社JSC 「Z-GUARD」

38th 日刊自動車新聞 **大賞**
用品 2025

カーセキュリティ部門

加藤電機株式会社
「ワンタッチカーセキュリティ BEE737-S」

メンテナンス部門

株式会社 MOBILY
「Dr.Clean」

機能用品部門

株式会社エーモン
「ショックレスリング」

新規参入部門

株式会社アイシン
「アイシン total parts & service provider」

ユーザーリピート部門

株式会社プロスタッフ
「CC ウォーターゴールド」

大型車部門

株式会社 SPREAD／SPHERE LIGHT
「バリアブルトラックテール」

整備サポート部門

カイセ株式会社
「KU-1300 デジタルサーキットテスター」

環境貢献賞

中央自動車工業株式会社

特別賞

株式会社ジャパン三陽

グ ラ ン プ リ

住友ゴム工業株式会社／株式会社ダンロップタイヤ
「SYNCHRO WEATHER」



DUNLOPの次世代オールシーズンタイヤとして、天候による路面の変化に合わせて、ゴムの性質が変化する新技術「アクティブトレッド」を初搭載した。ドライ・ウエット・氷上・雪上などのあらゆる路面に対応し、従来のオールシーズンタイヤではカバーできていなかった凍結路面でも快適な走行を実現。タイヤの常識を変える存在として、市場に大きなインパクトを与えている。また、タイヤ業界では珍しい販売店向けの認定店制度を導入。高機能タイヤの特色を正確に理解し、適切な提案ができる販売網を構築することで、ブランド力の向上につなげた。ユーザーのライフスタイル・業界の技術開発・環境配慮の考え方などにまで影響を与え得る画期的な製品として今後の展開が期待される点などを評価した。

準 グ ラ ン プ リ

アルパインマーケティング株式会社
「MetioSound」

車種ごとに車内構造を徹底的に分析し、専用設計を施した画期的な車載スピーカーシステム。天井に設置された市販初のルーフスピーカーは、まるでライブハウスで音が降り注ぐかのような自然で立体的なサウンドを再現している。ドアウーファーを組み合わせることで、クリアな中高音と迫力ある低音を車内全体に届けることが可能となる。

さらに、専用ネットワーク回路により、各車両の特性に最適化した音響調整のほか、取り付けの容易さにもこだわりをみせる。独自の技術と緻密な設計思想により、快適で高品質な車内音響環境空間を実現した。総合的な仕上がりが受賞の決め手となった。



準 グ ラ ン プ リ

株式会社レイズ
「VOLK RACING TE37GC」



メルセデス・ベンツ「Gクラス」などの高級SUVや車体の重い電気自動車など、次世代の車両のために設計したホイール。レイズの鍛造モデル初の23インチをベースサイズに設定し、1本あたりの耐荷重を900kgに高めた。表面処理では、研磨加工の一種である「バフ」で新技術「A. S. T.」を採用。鏡面加工の美しい輝きを長く保つ効果があり、マシニング加工によるロゴの素材感を引き立たせる。強度と軽さの両立、さらにデザイン性を備えた製品として同社の優れた技術力を裏付け、市場からの評価も高い。

タイヤ部門

横浜ゴム株式会社
「GEOLANDAR A/T4」

SUV・ピックアップトラックなどオフロード車用タイヤ「ジオランダー」シリーズの「A/T4」。オールテレーンタイヤに求められるオンロード性能とオフロード性能を両立し、オフロードイメージをより強調したデザインを特徴の一つとした。

トレッドパターンも見直し、耐カット・チッピング性能、雪上や雨天時の操縦安定性などを向上させた。同時にオンロードでの優れたウェット性能や快適性も実現した。SUVユーザーのライフスタイルに対応したアグレッシブなデザインと走行性能を兼ね備えた点を評価した。



洗車・コーティング部門

株式会社カーメイト
「ハイパーレジン クロス付き 100」



SUVなどの人気車種に黒樹脂パーツが多く採用されていることに着目し、5年前からボディと黒樹脂パーツの両方に効果を発揮するコーティング剤の開発に着手した。新開発の水を含まない高濃度処方（特許出願済み）の「オイル系レジン被膜」により、ボディ全体に深いツヤを与え、黒樹脂の黒さをより際立たせながら、高い撥水性も実現した。同製品1本でまとめて施工することができる手軽さと利便性の高さがユーザーから広く人気を集めている。

洗車・コーティング部門

武蔵ホルト株式会社
「タフウレタンヘッドライト オールインワン」

経年劣化によるヘッドライトの白ボケや黄ばみをクリアな状態に修復する。2液性ウレタン塗料を原材料にした分厚い塗膜が特徴の一つ。次回車検まで効果を維持する耐久性と仕上がり品質の良さが人気を集めている。

2023年9月の発売以来、2万本以上の販売を記録し、幅広い層に受け入れられている。そこで「サンドスポンジ#400、#800、#1500」「マスキングテープ」「マスキングシート」をセットにしたオールインワンモデルを追加発売した。初めて利用するユーザーやメンテナンスに苦手意識を持つユーザーにもアプローチしやすくした。



カスタマイズ部門

サンショウ株式会社
「model LM ROOMY」

巧みなデザインと上質な素材選びで、内外装の質感を高めるカスタマイズパーツとして高い支持を集めている。ボンネットフードプロテクターやフロントボトムスキッドギアは



SUVらしい力強さと重厚感を際立たせ、ドアプロテクターやフェンダープロテクターはクロスオーバースタイルを強調する。エクステリアパーツの豊富さが人気を後押しし、カスタマイズの楽しさを提供することで、市場活性化につなげている。インテリアには、広島のお店デニムメーカー「カイハラ」とのコラボによるデニム調シートを設定するなど、上質で個性的な空間を演出する。

ランプ・バルブ部門

辰巳屋興業株式会社/RACING GEAR
「LED HEAD&FOG PREMIUM MODEL II」

最新のロービーム車検基準に適合する高精度な配光設計により、優れた視認性と銅製基板と静音ファンを組み合わせた高効率な放熱構造を採用することで、長寿命・高耐久を実現している。

その信頼性は、大手運送会社の全車両に正式採用された実績にも表れており、業務用車両をはじめとする多くの現場で導入が進んでいる。安全性と安定性に優れ、実用性と品質の両面から高い評価を集めている。



アイデア部門

株式会社ソフト99コーポレーション
「自販機販売システム『洗車365』」



中古の自販機を改修し、ボトルパッケージに洗車スポンジや拭き取り用のクロスのほか、タイヤ・ホイール用の洗浄ブラシなど全 16 アイテムを詰めて販売する。自社製品の販路開拓を目指す新規事業の第 1 弾として開始した。独自設計のボトルで密閉性を確保し、製品ごとにオリジナルのキャラクターをデザインするなど、使用後に捨てずに保管容器として使える工夫を施した。同社が掲げる「モノを長く大切に」の価値観を体現する取り組みとして評価した。

アクセサリ部門

星光産業株式会社

「DELICAD:5 専用 ドリンクホルダー/スマートキーカバー」

三菱自動車の「デリカD:5」専用設計のドリンクホルダー（運転席、助手席）とスマートキーカバーは、デリカユーザーが求めるタフで武骨なデザインを実現した。高い完成度も奏功し、好調な販売を続けている。

ドリンクホルダーは別売りの「ドレスアップリング」に交換することで自分好みにドレスアップも可能。ソフトシリコン製フラップがドリンクのホールド感を高めつつ、出し入れをスムーズにした。

スマートキーカバーも衝撃吸収設計により保護機能を高めた。ユーザーニーズをくまなくとらえ展開し、用品市場の活性化につなげた。



アクセサリ部門

株式会社カシムラ

「KW-51 自動開閉式ワイヤレス充電ホルダー冷却機能」



音楽や地図アプリなどの長時間使用など車内での利用が増加するスマートフォン（スマホ）を充電しながら放熱を可能とした。スマホの熱問題解決に向け①充電器表面に強化ガラスを採用②ペルチェ素子を内蔵③冷却ファンの搭載一の「3重冷却構造」を実現した。

スマホのワイヤレス充電位置に合わせて、高さ調節が可能な機構の採用や最大 15 ワットの急速充電にも対応するなど機能面も充実している。これまでスマホの熱問題で困っていたユーザーからの幅広い支持を得て、好調な販売を記録している。

セーフティ部門

セルスター工業株式会社

「デジタルインナーミラー CS-2000SM」

自動車メーカーの純正採用も進みつつあるデジタルインナーミラーに、市販製品の強みを生かし、安心安全機能を充実させた。同乗者や荷物などで後方が見えにくい場合でも視界を確保できるほか、夜間でもクリアな映像をモニターに表示する。後方キャッチ機能や死角検知機能を搭載することで走行安全性を高めた。前後2カメラドライブレコーダーを搭載したデジタルインナーミラーの進化版となる。

準天頂衛星「みちびき」のサブメーター級測位補強サービスに対応し、災害・危機管理通報サービスを表示するなど利用者の安心安全にもつなげる。



ディスプレイオーディオ部門

パイオニア株式会社
「DMH-SF900」



高精細な10・1インチ大画面ディスプレイによる視認性の高さやスマートフォンとの高い連携性能など、ディスプレイオーディオとしての基本性能を兼ね備えている。加えて、注目すべきは独自のイルミネーション機能「ルミナスバー」だ。音楽再生時にはリズムに合わせて光が躍動し、通話やナビ案内時には異なる点灯パターンでドライバーに情報伝達を直感的に行う。

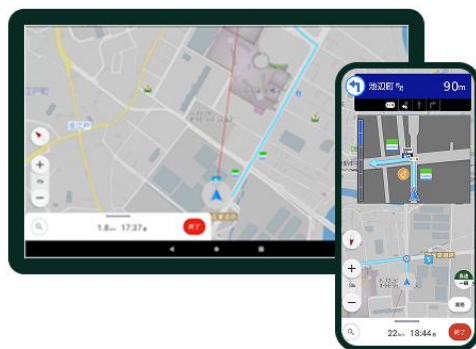
実用性を高めると同時に、車内に高揚感や特別感をもたらす演出は、視覚的な楽しさと機能性を両立する。移動の時間をより魅力的で心地よいものへと変えてくれる存在として注目した。

アプリケーション部門

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
「Gorillada PRO」

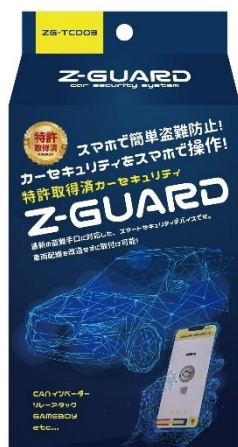
法人や業務用途向けに開発されたナビゲーションアプリ。「ストラーダ」に由来する高精度なルート検索と案内機能に加え、住所のない地点でもピンポイントで登録できる機能を備える。特に、営業や保守点検といった業務で高い利便性を発揮する。また、オフライン環境下でも使用できるため、山間部や災害時など通信が不安定になりやすい現場でも、安定したナビゲーション機能を提供する。

ドライバーの位置をリアルタイムで把握できる動態管理機能を備えており、業務全体の可視化や効率化、属人化の解消に大きく貢献する。



カーセキュリティ部門

株式会社 JSC
「Z-GUARD」



長年の現場で培ったノウハウと先進技術を融合させ、スマートフォンとの連動による使いやすさと高い盗難抑止力を実現した。日本製のハード・ソフトを採用し、特許を取得した半導体制御技術により、リレーアタックやCANインバーダー、キーエミュレーター（GAMEBOY）など、近年増加する多様な盗難手口にも対応する。

さらに、Bluetoothによる自動解除機能やセキュリティ作動時のエンジン無効化、低消費電力設計によるバッテリー保護といった細やかな配慮も特長だ。実用性と信頼性の高さが際立った。

カーセキュリティ部門

加藤電機株式会社

「ワンタッチカーセキュリティ BEE737-S」

ワンタッチで取り付け可能なカーセキュリティ「BEE737-S」。本体を助手席のサンバイザーに設置し、電源はシガーソケットに差し込むだけで使用できる。配線工事も不要なため導入ハードルが低いことも利点の一つ。

セキュリティの作動時には警告音やLEDによるフラッシュ点滅で犯人を威嚇し、盗難を抑制する。シガーソケットを通して運転中に自動的に充電でき、満充電で約1週間使用できる。

設置が簡単で自動車盗難対策品として手軽に使用できる上、防犯性が高い商品として評価した。



メンテナンス部門

株式会社MOBILY

「Dr.Clean」



エアコン内部を循環するエアコンオイルは、経年により劣化し、配管内壁に付着して「オイルファウリング現象」を引き起こすことがある。同製品は、こうした問題を短時間で解消し熱伝導率を高めることで、本来の冷却性能を回復させる革新的な製品として評価が高い。使用方法は、アイドリング状態で低压ポートから注入するだけ。施工時間はわずか5分程度となる。

作業性と即効性に優れており、エアコンの冷却性能を大幅に改善する効果が期待できる。車を長期保有するユーザーなどに向けた新たなメンテナンス製品として期待される。

機能用品部門

株式会社エーモン

「ショックレスリング」

自動車のシートやサスペンションアッパーマウントに取り付け、走行中の振動やノイズ等を低減する。製品の素材には、振動を吸収して熱エネルギーに変換する特殊制振合金を採用し、路面の凹凸通過時の突き上げによる振動を約40%低減。エンジンルームなど高温環境での使用も想定し、500度でも性能を発揮する耐熱仕様とした。取り付けの手軽さに加え、振動を軽減する方法として一般的なダンパーよりも、圧倒的に安い価格で快適な乗り心地を実現できる。ユーザー目線に立ったものづくりを評価した。



新規参入部門

株式会社アイシン

「アイシン total parts & service provider」

自動車部品サプライヤーのアイシンが展開するアフターパーツシリーズ。開発・製造の知見を生かした部品やオリジナルタイヤ、ケミカル製品など多岐にわたる製品をラインアップする。同社ブランドのアフターパーツは100カ国以上で販売し、地域特性やニーズに合わせた製品展開に力を入れている。



国内でも事業を強化している。22年には「ジェームス小牧南店」の運営を開始し、エンドユーザーの声を聞く重要な場所となっている。直近ではバッテリー、ジャンプスターターなどの販売も始めた。アフターマーケット市場の活性化にもつながる取り組みとして期待される。

ユーザーリピート部門

株式会社プロスタッフ

「CC ウォーターゴールド」

自動車用ボディーワックス・コーティング剤「CCウォーターゴールド」。簡単な作業で本格的なコーティングに仕上げる事ができる。2014年9月の発売以来、手軽さや施工性が評価され、ヒット商品に成長した。詰め替え用の購入頻度も高くリピーターの多い商品だ。

昨年9月に発売10周年を迎えた。同製品を中心に吸水クロスやタイヤワックスなどもシリーズとして揃えている。

リピート率の高いセルフコーティング剤として、存在感を高めてきた点が市場活性化に大きく貢献している。

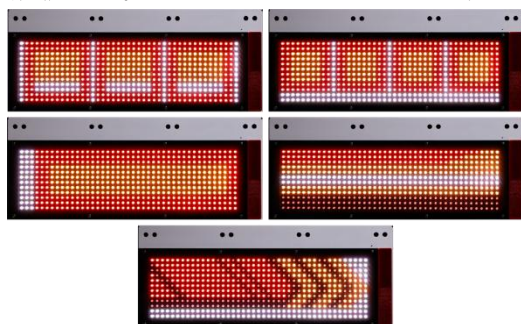


大型車部門

株式会社 SPREAD/SPHERE LIGHT

「バリアブルトラックテール」

業界初となる「可変式テールランプ」は、運転席から操作可能な5通りの点灯パターンを搭載する。ウインカーとハザードは、用途や好みに応じてシーケンシャルと通常点滅の切り替えが可能で、後続車への視認性と存在感を大幅に向上させる。516個のLEDを採用し、バックランプは従来の白熱球と比べて約4倍の明るさを実現した。



緊急ブレーキ時には即座に高速点滅へと自動で切り替え、周辺車両などに対して確実に注意を喚起する。安全性、耐久性、保守性にも優れており、現場の多様なニーズに応える「進化するテールランプ」としての完成度は非常に高い。

整備サポート部門

カイセ株式会社

「KU-1300 デジタルサーキットテスター」

大型カラーLCDの小型のサーキットテスター。機器本体、表示形式ともにデザイン性と機能性を高いレベルで両立させたことが選定の理由。機能面では、AC/DC電圧、抵抗、周波数、導通試験、ダイオードテスト、静電容量、非接触電圧検知、活動検知の8つを測定可能とする。非接触電圧検知や活線検知機能も備える。

本体背面にLEDライト（5ルーメン）を搭載し、測定項目、数値は確認しやすく、暗部における作業でも明るく見やすい。滑りを防ぐゴム製ホルダーを付属する。



環境貢献賞

中央自動車工業株式会社

自社で開発・販売するボディーコーティングなどの溶剤の空き瓶をリサイクルする取り組み。協力会社を通じ、カーディーラーから回収したガラス瓶の90%以上を茶色の瓶として再生し、それ以外はアスファルト舗装やセメントコンクリート舗装に用いる路盤材として活用する。現在、42都道府県で実施し、2024年度は売上金額による概算割合の70%に相当する空き瓶を回収した。コーティング容器の自主回収およびリサイクルを全国規模で実施するのは業界でも異例といい、持続可能な社会を実現する活動の一環として評価した。



特別賞

株式会社ジャパン三陽

創業者である須賀川充雄会長が夫婦で商いを始めてから50年を迎え、その長きにわたる堅実な事業展開と揺るぎない経営姿勢を高く評価した。アルミホイールブランド「MONZA JAPAN」の確立に加え、自動車用品を幅広く取り扱う商社として業界に大きく貢献している。



ホイールは、品質とデザインに徹底的にこだわりながら、市場の多様なニーズに的確に応え続けてきた。ホイール市場のみならず自動車用品業界全体の発展に寄与している。その確かな歩みと成果を評価し、今後のさらなる発展に期待を寄せたい。